



『栗の森のものがたり』(2.26[木] Q1)

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー
子どもの映画教室

金曜上映会

やまぎん県民ホールオープンハウス
上映会+ブークショップ

ほか

www.yidff.jp

Feb.

Mar.

2026

16才の子ども映画教室



3月7日
10:00-12:30

山形ドキュメンタリー
フィルムライブラリー
山形市平久保100 山形国際交流プラザ
(ビッグウイング)3F

対象・定員 小学生 先着12名 保護者の方の見学は自由

参加費 ひとり 500円

申込み 右のフォームまたはお電話(023-666-4480)で
2月26日[木]締切(定員に達し次第受付終了)

問合せ 山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局 023-666-4480

主催:一般財団法人 山形コンベンションビューロー
認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭



山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー 金曜上映会

2.26

本Thu

木曜Q1版

ゲスト来場

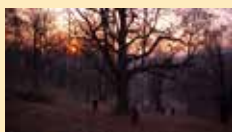
金曜上映会特別版+創造都市やまがた教養講座
〈土地から生まれるものがたりを巡って〉

▶18:30 (1回上映+トーク)

栗の森のものがたり

監督:グレゴル・ボジッチ

スロヴェニア、イタリア/2019/82分



やまがたアーティスト・イン・レジデンスの招聘作家として山形に滞在する、プロデューサー・共同脚本のマリーナ・グムジさん、グレゴル・ボジッチ監督を招き、『栗の森のものがたり』を上映。お二人と、山伏・採集者の成瀬正憲さんを迎えてトークを開催する。

栗の森に囲まれた、イタリアとスロヴェニアの国境地帯にある小さな村。ケチで不器用な棺桶職人・マリオと、この地を離れることだけを夢見る栗売りのマルタ。第二次世界大戦後、社会の変化に残されたような村からは一人また一人と住人たちが去っていく。偶然出会ったことをきっかけに、マリオはマルタにある提案を持ちかける。

★この回は要申込です(2月23日[月]締切)

右のQRコードからフォームを入力いただくか、お電話(023-666-4480)でお申し込みください。



会場:やまがたクリエイティブシティセンターQ1 2-B

山形市本町1-5-19 山形市立第一小学校旧校舎



隣接の小学校駐車場はご利用いただけません。Q1向かいの専用駐車場か、提携駐車場(中央駐車場(市役所)、大手町駐車場、香澄駐車場、済生館前駐車場)をご利用ください。

主催:山形市、山形市創造都市推進協議会、認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭
協力:「やまがた秋・冬の文化祭」実行委員会

認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭が主催する定期上映会です。
2、3月は変則開催となります。会場、曜日、時間、参加方法など、お間違いのないようご参加ください!

鑑賞会員無料(当日受付にてご入会ください)

会費・入会金不要(本法人「正会員・賛助会員」制度とは別です)。

3.14

土Sat

土曜版

ゲスト来場

〈映画の都〉

▶10:15, 14:00 (2回上映+トーク)

映画の都

山形国際ドキュメンタリー映画祭'89

監督:飯塚俊男/1991/98分

ミラーワークス'89

山形市中央公民館

構成・編集:大江悠太/2025/28分



映画作家ヨリス・イヴェンスの追悼、開催準備の様子、作家たちのインタビュー、そしてシンポジウムで発言するアジアの作家たち。初回の山形国際ドキュメンタリー映画祭を記録した『映画の都』。

新たにデジタル化された『映画の都』の撮影ネガフィルムや撮影現場の記録ビデオから、1989年に山形が映画の都となった原風景を集め、フィルムの物理的なイメージを活かし詩的に描く『ミラーワークス'89 山形市中央公民館』を上映。

国際映画祭の成り立ちと、現在も続く営みが、時を重ね交差する。

各回上映後に、『ミラーワークス'89』の構成・編集を手がけた大江悠太さんを迎え、山形映画祭 榎谷秀一理事とともにトークを行なう。

会場:山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー試写室

山形市平久保100 山形国際交流プラザ(ビッグウイング)3階

無料駐車場あり/こちらは事前申込不要です

助成:公益財団法人 図書館振興財団、一般財団法人 川村文化芸術振興財団
特別協力:株式会社 ヨコシネディーアイエー
協力:ACT 5 SCENE 1、ドキュメンタリー・ドリーム・センター



「芋煮文化探求記」 完成試写会

短編ドキュメンタリー映画

令和7年度「映像で山形県を伝える」事業制作作品

芋煮がなぜ
山形人を魅了するのか

監督：菊地真

2月28日[土] 10:00, 13:30

各回 上映約30分+制作秘話

やまがたクリエイティブシティセンター Q1 2-B

鑑賞無料・要申込(各回先着30名)

主催：山形市、山形市創造都市推進協議会
協力：「やまがた秋・冬の芸術祭」実行委員会、YIDFF
問合せ：山形市文化スポーツ部文化創造都市課
023-641-1212 (内線 769)



やまがた
文化の回廊
フェスティバル
2026

やまぎん県民ホールオープンハウス2026
YIDFF出張上映&ワークショップ

チューリップちゃん+監督トーク



©sakichi

監督：渡辺佐吉/2024/18分

ちょっと変わった小学5年生・チューリップちゃんの夢は、孫に還暦を祝ってもらふこと。アニメーションならではの珍妙でオフビートな演出スタイルと卓越したワードセンスで、唯一無二の世界に引き込まれる。

彼方の家族+監督トーク

東日本大震災で父親を亡くし、現在も喪失感を抱えたまま生きる高校生・奏多と、父親との間に問題を抱える同級生・陸の交流を通し、あの日から現在まで続く震災の記憶と、再生を静かに描き出す物語。



監督：川崎たろう、坂内映介
2023/81分

14:00 スタジオ2 (3階)

[料金(2作品通し)]一般前売(予約) 1,000円/当日1,300円
中高校生前売(予約)500円/当日800円



みんなの映画工房

映画のフィルムをつくってみよう!

10:00-12:00 練習室3 (3階)

色を染めたり模様を描いたりしたフィルムを
映写機にかけてスクリーンに映してみよう。

[対象・定員]小学生以上 15名/要申込

[料金]小中高校生 500円/おとな 1,000円



3.29[日] やまぎん県民ホール
山形駅西口

主催：認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
前売予約、ワークショップ申込は各QRコードかお電話 023-666-4480 で!

ドキュ山
ニュース

山形国際ドキュメンタリー映画祭の高校生
チームです。いろいろな上映会やイベントを企
画してみよう。メンバー募集中。

@docu_777

@Docuyama_youth



監督インタビュー、上映会場でのボランティア、表彰式での市民賞プレゼンターなど、山形国際ドキュメンタリー映画祭2025でも活躍しました。

山形市デジタルライブラリー



山形市が昭和30年から平成元年頃までに制作した広報映画、ニュース映画などをデジタル・ライブラリー化しています。これまでに40作品がデジタル化され、山形ドキュメンタリー・フィルムライブラリー⇒のビデオブースでご視聴いただけます。

問合せ：山形市創造都市推進協議会 事務局
山形市文化スポーツ部文化創造都市課内 023-641-1212 (内線 769)

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー

これまでに山形国際ドキュメンタリー映画祭に応募された20,000本以上の作品、311ドキュメンタリーフィルム・アーカイブ、山形市広報フィルムのデジタルライブラリーの作品を視聴することができます。また、金曜上映会や、子どもの映画教室を開催し、幅広い世代が映画に触れる機会を設けています。国内の非営利上映向けに作品の貸出も行っています。▶www.yidff.jp/library/loans/

- 山形市平久保100 山形ビッグウイング3F
- 開館時間：10:00-17:00
- 休館日：月・火曜(祝日を除く)、年末年始
- 臨時休館はWebサイトでお知らせします。
- 電話：023-635-3015



311 ドキュメンタリーフィルムアーカイブ
www.yidff311docs.jp

東日本大震災の記録映画とその作品資料を蒐集・保存し、作品情報を世界に発信するプロジェクトです。登録作品は山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー内でご視聴いただけます。

((山形国際ドキュメンタリー映画祭情報発信中))

@yidff_8989

@yidff

メールマガジン「YIDFFニュース」(毎月1回配信)

www.yidff.jp/news/subscription ▶▶▶▶▶

コミュニティFM ラジオモンスター 76.2MHz『モンブラン』内



次号発行は

4月1日

編集・発行：認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
〒990-0044 山形市木の実町9-52 木の実マンション201
電話：023-666-4480 FAX：023-625-4550
Eメール：info@yidff.jp ウェブサイト：www.yidff.jp

フィルムを捨てないで!「懐かしい」を未来へ!

ご自宅や倉庫に眠っているフィルムはありませんか?

ホーム・ムービーや自治体の記録映像など、貴重なフィルムの多くがその新たな価値に気づかれず、不要なものとして処分されたり、劣化して二度と見られなくなってしまうという状況があります。

映写機がなくて見られない、何のフィルムか分からないなどありましたら、山形映画祭事務局(023-666-4480)にご相談下さい。